



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 株式会社第一興商 上場取引所 東
 コード番号 7458 URL <https://www.dkkaraoke.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保志 忠郊
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 西原 康尚 (TEL) 03 (3280) 2151
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	122,415	7.0	13,770	△3.8	14,077	△3.0	9,644	△28.6
2025年3月期第3四半期	114,439	4.2	14,320	△5.2	14,505	△7.5	13,503	28.2
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		9,492百万円(△32.0%)	2025年3月期第3四半期		13,956百万円(28.8%)			
			1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益			
			円 銭		円 銭			
2026年3月期第3四半期		93.03			92.75			
2025年3月期第3四半期		127.85			127.51			

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 198,892	百万円 119,608	% 59.4
2025年3月期	百万円 209,316	百万円 117,862	% 55.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 118,096百万円 2025年3月期 116,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 一	円 銭 28.00	円 銭 一	円 銭 29.00	円 銭 57.00
2026年3月期	円 銭 一	円 銭 28.00	円 銭 一	円 銭 39.00	円 銭 67.00
2026年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当29円00銭 記念配当10円00銭 (創業55周年記念配当)

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
通期	162,700	6.3	18,000	0.3	18,800	2.2	15,400	△15.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	103,968,400株	2025年3月期	109,468,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	591,507株	2025年3月期	4,980,507株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	103,667,638株	2025年3月期3Q	105,625,609株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日、以下「当第3四半期」という）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善に伴い、景気は緩やかな回復基調となりましたが、物価上昇による消費マイナスの下振れや、アメリカの政策動向による経済への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当カラオケ業界におきましては、主力市場であるナイト市場・カラオケボックス市場を中心に、全体として緩やかに需要が改善するなかで、各商圈の中心地における事業者同士の競争は活発化しております。

このようななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当第3四半期の業績は、売上高は第3四半期における過去最高となる122,415百万円（前年同期比7.0%増）となりました。利益面におきましては、DAMの新フラッグシップモデル発売に関連して機器の入替え費用や、プロモーション費用などの販管費が増加した影響などにより、営業利益は13,770百万円（同3.8%減）、経常利益は14,077百万円（同3.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期にあった固定資産売却益が剥落したことなどにより、9,644百万円（同28.6%減）となりました。

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	(百万円) 増減率
売 上 高	114,439	122,415	7,976	7.0%
営 業 利 益	14,320	13,770	△549	△3.8%
経 常 利 益	14,505	14,077	△428	△3.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,503	9,644	△3,859	△28.6%

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、成長市場であるエルダー市場を中心に、全体として緩やかに改善が進み、当第3四半期末のDAM稼働台数は前年同期比微増となりました。

そのようななか、5年ぶりとなるDAMの新たなフラッグシップモデル「LIVE DAM WAO!（ライブダムワオ）」を4月に発売いたしました。本機は“歌うほど、あたらしいワオ”をコンセプトに、新たな演奏方式による重厚な音源を実現したほか、多数の本人映像を新たに搭載いたしました。また、新機能「ボイスマジック」や4本同時使用が可能な「クワトロハーモニーマイク」の導入により“歌う”という体験をアップデートし、コアなカラオケファンから、カラオケ初心者の方まで楽しめる機能を多数搭載いたしました。当第3四半期においては、テレビCMやSNSなど多様なメディアを通じて本機の拡販につながるプロモーションを行うことで、カラオケ利用者のすそ野の拡大やDAM稼働台数の増加を図るとともに、旧機種から新機種への入替えなどによるDAM1台あたりの収入増加に努めました。

エルダー市場においては、介護施設等への訪問営業やオンラインコンサートの実施などを通じて、エルダー市場専用機「FREE DAM LIFE（フリーダムライフ）」の拡販と、介護現場における職員の負荷軽減に繋がる機能を訴求することで、「歌うこと=健康」という認知拡大に努めました。

以上の結果、新商品発売の影響により、卸売を中心とした商品販売売上が増加したことなどにより、売上高は前年同期比6.6%の增收となり、利益面におきましては、営業資産の買取りにより一時的な費用が発生したほか、プロモーションに係る販管費が増加した影響などにより、営業利益は前年同期比2.7%の減益となりました。

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	(百万円) 増減率
売 上 高	46,476	49,534	3,057	6.6%
営 業 利 益	9,176	8,927	△248	△2.7%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、カラオケ9店舗、飲食16店舗の出店及びカラオケ7店舗、飲食7店舗の閉店を行ったことにより、当第3四半期末の店舗数はカラオケ505店舗、飲食168店舗となりました。

店舗の集客は、前期に実施したリニューアルの効果や「LIVE DAM WAO!(ライブダムワオ)」の導入効果などが影響し、夏休みや年末といった商戦期を中心として堅調に推移し、当第3四半期の既存店売上高はカラオケ店舗で前年同期比4%増、飲食店舗で同1%増となりました。

このようなか、ビッグエコー店舗においては“BIG SMILE, BIG ECHO. 歌おう、笑おう、みんなともっと”をスローガンに掲げ、メーカー直営店としてカラオケ機器、音響設備のクオリティ向上に努めるほか、「ビッグスマイルキャンペーン」として多様なアーティストやアニメ作品とのコラボレーション企画等を積極的に展開し、カラオケを通して様々な喜びと楽しさの創出に努めました。

また、4月発売の「LIVE DAM WAO!(ライブダムワオ)」について、新たな機能をお客様にいち早く体感いただくため、早期に全店へ導入することで集客向上を図るとともに、“みんなで集まって、歌って楽しむ”というカラオケ本来の価値の訴求に努めました。

飲食店舗においては、前期に引き続き予約受注が好調に推移するなかで、お客様アンケートを通じて店舗環境、接客サービス、料理のクオリティ向上を図りました。また、ダーツ業態「REGALO」4店舗を出店するなど、幅広く集客の獲得を推進しました。

以上の結果、売上高は既存店における増収に加え、前期に出店した飲食店舗による増収などの影響により、前年同期比6.3%の増収となり、営業利益は前年同期比2.4%の増益となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売 上 高	49,937	53,081	3,144	6.3%
営 業 利 益	5,144	5,267	122	2.4%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるとともに、カラオケを中心とする自社メディアを活用した音楽出版事業にも注力することにより、堅実な収益モデルの構築に努めました。

以上の結果、売上高は前年同期比3.8%の減収となり、営業利益は前年同期比48.3%の減益となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売 上 高	4,179	4,020	△158	△3.8%
営 業 利 益	276	142	△133	△48.3%

(その他)

当事業におきましては、新たな収益の柱とするべく「ザ・パーク」ブランドで展開するパーキング事業の業容拡大が進展し、当第3四半期末時点で約4,400施設、50,000車室となりました。また、「スターデジオAir」等で展開するBGM事業や、家庭用カラオケサービス「カラオケ@DAM」についても堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高はパーキング事業収入が増加したことなどにより前年同期比14.0%の増収となり、営業利益は前年同期比15.9%の増益となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売 上 高	13,845	15,779	1,933	14.0%
営 業 利 益	1,865	2,161	296	15.9%

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10,424百万円減少し、198,892百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では現金及び預金が18,925百万円減少し、受取手形及び売掛金が1,745百万円及びその他に含まれる前払費用が1,600百万円それぞれ増加しております。

固定資産ではカラオケ賃貸機器が1,440百万円及びカラオケルーム及び飲食店舗設備が3,223百万円それぞれ増加しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ12,169百万円減少し、79,284百万円となりました。

これは主に、流動負債の短期借入金が9,032百万円及び未払法人税等が3,238百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ1,745百万円増加し、119,608百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加9,644百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少5,924百万円及び自己株式の取得による減少1,884百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月7日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,949	23,024
受取手形及び売掛金	5,988	7,733
棚卸資産	13,769	14,462
その他	5,989	7,575
貸倒引当金	△153	△160
流動資産合計	67,543	52,635
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器（純額）	9,610	11,051
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	13,896	17,120
土地	34,940	34,746
建設仮勘定	32,316	32,673
その他（純額）	8,193	9,311
有形固定資産合計	98,958	104,903
無形固定資産		
のれん	5,094	4,689
その他	5,887	6,044
無形固定資産合計	10,982	10,734
投資その他の資産		
投資有価証券	7,044	6,761
敷金及び保証金	14,684	14,702
その他	10,219	9,258
貸倒引当金	△115	△103
投資その他の資産合計	31,833	30,619
固定資産合計	141,773	146,256
資産合計	209,316	198,892

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,885	2,870
短期借入金	12,443	3,411
未払法人税等	4,752	1,513
賞与引当金	1,272	1,299
その他	13,636	13,926
流動負債合計	35,990	23,021
固定負債		
長期借入金	41,128	41,544
役員退職慰労引当金	635	584
退職給付に係る負債	8,169	8,357
資産除去債務	1,873	1,915
その他	3,657	3,861
固定負債合計	55,463	56,262
負債合計	91,454	79,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,211	4,211
利益剰余金	108,490	100,652
自己株式	△10,571	△1,195
株主資本合計	114,481	116,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,867	1,676
土地再評価差額金	△558	△158
為替換算調整勘定	148	191
退職給付に係る調整累計額	394	369
その他の包括利益累計額合計	1,851	2,078
新株予約権	464	436
非支配株主持分	1,065	1,075
純資産合計	117,862	119,608
負債純資産合計	209,316	198,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	(単位:百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	114,439	122,415
売上原価	73,716	79,761
売上総利益	40,722	42,654
販売費及び一般管理費	26,402	28,883
営業利益	14,320	13,770
営業外収益		
受取利息	19	32
受取配当金	153	193
受取保険金	195	76
受取協賛金	126	275
受取補償金	366	1
その他	524	498
営業外収益合計	1,385	1,078
営業外費用		
支払利息	320	309
為替差損	2	26
解約違約金	26	21
支払和解金	42	304
助成金返還損	653	-
その他	154	110
営業外費用合計	1,201	771
経常利益	14,505	14,077
特別利益		
固定資産売却益	4,414	972
投資有価証券売却益	1,380	168
特別利益合計	5,795	1,141
特別損失		
固定資産処分損	128	148
減損損失	277	262
特別損失合計	406	411
税金等調整前四半期純利益	19,894	14,807
法人税、住民税及び事業税	6,194	4,861
法人税等調整額	168	280
法人税等合計	6,362	5,142
四半期純利益	13,531	9,664
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,503	9,644

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	13,531	9,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	289	△190
土地再評価差額金	175	-
為替換算調整勘定	△21	43
退職給付に係る調整額	△17	△24
その他の包括利益合計	425	△172
四半期包括利益	13,956	9,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,929	9,471
非支配株主に係る四半期包括利益	27	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2025年8月7日開催の取締役会決議に基づき、2025年8月18日付で、自己株式5,500,000株の消却を実施しております。この結果、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ11,119百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が100,652百万円、自己株式が1,195百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	46,476	49,937	4,179	100,593	13,845	114,439	—	114,439
セグメント利益 (営業利益)	9,176	5,144	276	14,597	1,865	16,462	△2,142	14,320

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,142百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	49,534	53,081	4,020	106,636	15,779	122,415	—	122,415
セグメント利益 (営業利益)	8,927	5,267	142	14,338	2,161	16,499	△2,729	13,770

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パーキング事業、不動産賃貸及びBGM放送事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,729百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額並びに負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	10,704百万円	12,373百万円
のれんの償却額	402	399
負ののれんの償却額	0	—